

次年度の「市街地景観検討部会」について

○ 検討事項

駅周辺は多くの人が行き交う倶知安町の賑わいの中心となるエリアであり、今後の新幹線開業を見据えた土地利用の更新も見込まれることから、景観計画における景観形成上の重点地区の位置づけを予定しています。

それを踏まえ、今回の基本方針(案)やスケッチイメージを踏まえて次年度(令和3年度)では、主に以下の取り組みについて検討を予定しています。

- ① 具体の意識的な取り組みを促す“(仮)魅力的なまちなみづくりガイドライン”の検討
- ② 建築物の新築・更新等に伴う「景観形成基準」の検討
- ※ 駅前広場整備に係るレイアウトについては、「駅舎デザインコンセプト検討検討委員会」を引き継いだ新たな委員会で検討する予定。

○ 会議の回数

年4回程度を予定しています。

○ スケジュールイメージ

令和3年中に景観計画(原案)の作成を目標としているため、会議の開催は令和3年中に全て実施する予定です。スケジュールイメージは以下のとおり

第1回	令和3年 5月	○駅前通りを中心としたフィールドワークを再実施 ※各店舗等の広告物・緑化・ファサードの設え・オープンスペースの使い方など、「魅力的なまちなみ」につながる要素の確認
第2回	令和3年 7月	○“(仮)魅力的なまちなみづくりガイドライン”素案 ○「景観形成基準」のゾーニング案
第3回	令和3年 9月	○“(仮)魅力的なまちなみづくりガイドライン”原案 ○「景観形成基準」のゾーニング原案
第4回	令和3年11月	○“(仮)魅力的なまちなみづくりガイドライン”(案) ○建築物等に係る「景観形成基準」(案)

○ その他

ガイドラインや基準の検討にあたっては、本部会に加えて、必要に応じて関係団体等へのヒアリングなども考えています。